

2023年11月10日

岡山大学に留学中の JICA 研修員が倉敷市水島でフィールドワーク

「瀬戸内海で学ぶ、産業と暮らしと環境」を行います

11月19日（日）岡山大学大学院で研修中の JICA 研修員 4 カ国（アフガニスタン、ベナン、ケニア、南スーダン）8 名が、倉敷市水島でフィールドワークを行います。

「みずしま滞在型環境学習コンソーシアム」のアレンジにより、同地区での産業・暮らし・環境保護について、講義や意見交換、水島港からのクルーズなどを通して学びます。

研修員は母国の行政に携わっており、社会福祉や環境保護の現場を実体験することで、帰国後の業務に新たなヒントを得られるものと考えます。また、本プログラムでの体験は親日・知日派の醸成に貢献するものと考えています。ぜひ、取材をご検討ください。

なお、取材いただける場合は、下記問い合わせ先まで事前連絡をお願いします。担当者、在宅勤務中の場合があるため、お手数をおかけいたしますが、問い合わせはメールにてお願いいたします。

【概要】

- 名称：日本理解プログラム（地域振興）『水島フィールドワーク 瀬戸内海で学ぶ、産業と暮らしと環境』
- 参加者：JICA 研修員 8 名程度（予定）（2021 年～2023 年に来日し、2024 年～2026 年までの予定で、岡山大学大学院環境生命科学研究科、社会文化科学研究科で学んでいる学生です。）
- 日時：2023年11月19日（日）午前9時30分頃～午後4時頃（以下の<日程案>の通り）
- 実施場所：岡山県倉敷市<日程案>

時間	内容
9:30	JR 岡山駅からバスにて出発
10:30～11:00	岡山県倉敷市水島東栄町〔あさがおギャラリー〕 レクチャー：水島コンビナートと大気汚染公害 福田憲一氏（みずしま資料交流館館長、みずしま財団副理事長）
11:00～12:00	レクチャー：社会福祉と居場所づくり（仮） 井上正貴氏（こども食堂ミソラ♪（ハルハウス））
12:00～13:30	昼食・交流（カレーを食べながら、参加者同士・地域の関係者と交流）
13:30～14:00	バス移動
15:00～16:00	水島港から〔水島コンビナート&瀬戸内海クルーズ（六口島上陸）〕 体験とレクチャー：海から工業地帯を見学（コンビナート企業のつながりや、世界とのつながりを学ぶ。） 古川明氏（みずしま滞在型環境学習コンソーシアム会長） 塩飽敏史氏（みずしま財団）
16:00	水島港出発（帰途、JR 岡山駅へ）

以上

【本件に関する問い合わせ・申込み先】

JICA 中国 研修業務課 担当：吉田
TEL: 082-421-6310 FAX: 082-420-8082
E-mail: Yoshida.Eiichi@jica.go.jp

地域から世界へ、世界から地域へ
元気をつなぐ JICA 中国

JICA 中国ウェブサイト

